

命の一曲。

MOZART

REQUIEM

黒部で第九を歌う会 第10回記念コンサート

「モーツァルトのレクイエム」
コンサート

黒部で第九を歌う会

〔主催〕 黒部で第九を歌う会、北日本新聞社、北日本放送、(財)黒部市国際文化センター 〔共催〕 黒部市

〔後援〕 黒部市教育委員会、黒部市芸術文化振興協会、黒部ライオンズクラブ、黒部ロータリークラブ、黒部中央ロータリークラブ

黒部で第九を歌う会事務局 黒部市中新398 Tel.0765-54-1339 E-mail daiku@ni-po.ne.jp / コラーレ Tel.0765-57-1201

黒部で第九を歌う会 第10回記念コンサート

「モーツァルトのレクイエム」コンサート

2010.11.28 sun

| 会 場 | 黒部市国際文化センターコラーレ (カーターホール)

Program

曲 目 W.A.モーツァルト：『交響曲第40番 ト短調 K.550』
『レクイエム ニ短調 K.626』

指 揮 横島 勝人

ソリスト 岩井 理花 (ソプラノ) 日野 妙果 (メゾ・ソプラノ)

内山 信吾 (テノール) 谷 友博 (バリトン)

管 弦 楽 富山シティフィルハーモニー管弦楽団

合唱指揮 内山 太一

合 唱 黒部で第九を歌う会「モツレク合唱団」

MOZART

REQUIEM



REQUIEM

ごあいさつ

黒部で第九を歌う会はこの「コラーレ」を舞台にその歩みとともに歩んできました。団員と聴衆の皆様のご感動がこのように継続するエネルギーになって記念すべき第10回コンサートを迎えることができました。黒部市、市内外の企業団体個人の貴重なご協賛ご支援と、共催の北日本新聞社のご協力が何よりの支えでありました。厚くお礼を申し上げます。

ベートーベンの第九を歌う会がモーツァルトの「レクイエム」に挑戦したのは2年前のこの月でした。第九だけを歌って8回、それなりに歌うことができるという慣れから来るマンネリは避けることができませんでした。そこで新しい気持ちで新たな曲に挑戦することで合唱のレベルを高めたいと、前回はモーツァルトのレクイエムを選んだのです。そして今回も同じレクイエムを選びました。今回は約1年間の練習をこなしました。前回は1年半でしたが今回も練習はかなりハードなものでした。

難曲といわれる「レクイエム」は団員の挑戦意欲を高めました。舞台と聴衆が一体となった前回の感動の場面をさらに超えて合唱のレベルを高め、僭越ではありますが、黒部のそしていかわ地域の文化活動に華を添えたい、そんな気持ちで団員一同歌いあげたい。無我夢中で歌うだけが精いっぱいだった初回の「モツレク」から、今回は曲の理解が深まったとはのかな自信を抱いていますが、まだまだ未熟なところも多いと思います。どうか温かく見守ってご声援をいただきたく存じます。「音楽は聴衆にこころを届けるものです。」「練習を重ねているとモーツァルトが助けてくれるときがあります。それを信じて・・・自信をもって歌ってください」など指揮者横島先生、合唱指導の内山先生の言葉を心に秘めて歌いあげます。

みなさまにはこれからも引き続きご支援をお願い申し上げてご挨拶いたします。

お祝いのことば

「モーツァルトのレクイエム」コンサートが、ここ黒部市で盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、平素から本市の芸術文化活動推進にご尽力を賜っておりますことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

さて、「黒部で第九を歌う会」は、平成5年5月にYKK体育館で開催されました第1回のコンサートを皮切りに9回の公演を重ねられ、このたび10回目の節目のコンサートを迎えられました。団員108名が心をひとつにして歌い上げる情熱と感動を一人でも多くの方々に味わっていただきたいとPRさせていただいているところであります。また、世界的にご活躍されております指揮者の横島勝人様、声楽家の内山太一様のご丁寧なご指導をいただいております。市民レベルの草の根の活動でありますこの会の取り組みを成功に導いていただいておりますことに心から感謝申し上げたいと思います。

「モーツァルト・レクイエム」は、一般の愛好家には難曲と言われており、10回目のコンサートで再度この難曲に取り組みますことを、市民挙げて大きな期待を寄せております。コンサートを契機に、さらに黒部市の芸術文化活動が進展することを期待しております。

結びに、このコンサートの大成功をご祈念申し上げますとともに、「黒部で第九を歌う会」並びに長年ご支援、ご協力を賜っております関係団体、関係各位の皆様の一層のご発展と、団員の皆様のご健勝ご多幸を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

黒部で第九を歌う会会長

島倉 敏夫



黒部市長

堀内 康男



ごあいさつ

「黒部で第九を歌う会」の皆さまが、再び「モツレク合唱団」を編成して難曲「モーツァルト・レクイエム ニ短調 K.626」に挑戦されることになりました。主催者の一員として、旺盛なチャレンジ精神をうれしく、そして頼もしく思います。

平成5年からベートーベンの「第九・歓喜の歌」を8回にわたって歌い、20年に「モーツァルト・レクイエム」特別公演を開催されました。初めて「第九」以外に挑むということで高い関心を集め、反響も大きいものでした。今回も指揮者に横島勝人氏を、ソリストには地元黒部出身の岩井理花さんらを招き、大曲にふさわしい顔触れとなりました。厳しい練習を重ねて演奏に磨きかけた富山シティフィルハーモニー管弦楽団と「モツレク合唱団」が生み出す魂のこもったハーモニーが、地域の音楽文化の新しい地平を開き、聴衆に大きな感動を与えることを祈念しております。

終わりに、開催にあたりまして、ご支援・ご協力を賜りました黒部市をはじめとする関係各位にお礼を申し上げ、ごあいさついたします。

お祝いのことば

「黒部で第九を歌う会」が、指揮者横島勝人さんとの出会いを通して、モーツァルトが最晩年に残した名曲「レクイエム」に、再度さらなる高みを目指して挑戦され、コンサートを盛大に開催されることは、まことに意義深いこととお祝い申し上げます。

今回は、初演の際に1年半を練習に費した経験を踏まえて、さらに1年という歳月をかけ、みっちり練習に取り組んでこられたその熱意と意気込みに敬意を表します。

「黒部で第九を歌う会」にとって、1993年に第1回の産声コンサートを開催されてから、ちょうど10回目の公演となる今回は、合唱団としての成長の歩みとフィールドワークの広がりを確認しつつ、あらたな未来への飛躍を目指す節目になることでしょう。団員の皆さんの「モーツァルトのレクイエム」に込められた思いや理解も一段と深まったとお伺いしています。

指揮者横島勝人さんのタクトのもと、4人のソリスト、新川地域のみならず県内各地から参加された多くの合唱団の皆さん、そして富山シティフィルハーモニーの演奏が、コラーレのホールいっぱいに見事なハーモニーを奏で、感動が広がる素晴らしいコンサートになることを心より祈念しています。

北日本新聞社代表取締役社長

河合 隆



北日本放送代表取締役社長

横山 哲夫





指揮者 横島 勝人

Katsuto Yokoshima

これまでに指揮したオーケストラ

- ・ハンガリー国立セグド交響楽団
- ・マーフ・ブダペスト交響楽団
- ・オランダ放送管弦楽団
- ・新日本フィルハーモニー交響楽団
- ・東京シティ・フィルハーモニック 管弦楽団
- ・大阪センチュリー交響楽団
- ・岡山フィルハーモニック管弦楽団
- ・広島交響楽団
- ・関西フィルハーモニー管弦楽団
- ・京都市交響楽団
- ・奈良フィルハーモニー管弦楽団
- ・東京佼成ウィンドオーケストラ
- ・大阪市音楽団 他

Photo : Masashige Ogata

大阪生まれ。9歳よりピアノを始める。大阪音楽大学在学中より指揮活動を開始、同大学卒業後も1990年まで高槻市音楽団の常任指揮者を務める。1990年ウィーン留学、その後ウィーン国立音楽大学指揮科に入学。同大学教授、レオポルド・ハーガー、ペーター・シュヴァルツ、同大学助教授、湯浅勇治の各氏に師事。1990年ウィーンマイスタークラス指揮セミナー、1996年ハンガリー国立セグド交響楽団主催セミナーにてユリウス・カルマー、エルヴィン・アッチェルの各氏に師事。ディプロマを取得、演奏会指揮者にも選ばれる。1998年、オランダで行われたキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールにてベスト8に選ばれ、1999年には、ウィーン楽友協会ホールでのトーンキェンストラ交響楽団との演奏会においてベートーヴェン交響曲第9番を指揮、大成功をおさめウィーンデビューを飾る。2001年、ウィーン郊外アイゼンシュタットのエステーハーザー城内ハイドンザールにて、「ハイドンのオラトリオ」天地創造”を指揮する。2003年にはブラハの春音楽祭のメイン会場であるスメタナホールにて、ブラハ放送交響楽団を指揮、好評を博し、地元の音楽関係者からも絶賛される。2000年より小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトI、II、III、においてアシスタント及び合唱指揮を務める。2005年7月、ドイツ ライプツィヒでのチャリティ・コンサートに出演。ニコライ教会でバッハ：ロ短調ミサを、ゲヴァントハウスで「第九」を指揮し、絶賛を博した。2006年9月、10月には、ウィーンとブラハでモーツァルト生誕250年「レクイエム・ガラ」特別演奏会を指揮。

富山シティフィルハーモニー管弦楽団



県内初の社会人オーケストラとして、1983年に誕生。以来県民に愛されるオーケストラを目指して活動を展開している。オーケストラ演奏をこの上ない楽しみとするメンバーたちは現在90名で、週末の練習には県内一円から活動拠点の富山市民芸術創造センターへ集まってくる。団員の平均年齢は30代であり、家庭においては子育て真っ最中という人が多いので、練習の際には託児室を設けて活動をサポートしている。

主な活動は、年2回の定期演奏会をはじめとして、地域コミュニティコンサートなど年間4回の演奏会を行っており、毎週の練習もアットホームな雰囲気の中充実した内容で行なわれている。

メンバー

1st Violin	大西さやか 増田 美香	高橋久美子 又場 龍大	田中 緑 松下 タエ	中川 洋司 宮本 範子	名執 純子 米丘 博	廣田 弘美 渡辺 優子	牧野 誓子
2nd Violin	朝木 晴美 松下 亮	阿閉 博美 吉澤 真弓	小柳津英知 米澤由佳子	塩崎 章子	末永 祐士	仲井 美賀	沼田 典子
Viola	大森 祐子	小椋 美佳	篠原美奈子	高田 亮二	中 秀晃	松島真二郎	吉田 彰
Violon cello	岡田 彰 堀田 五月	島田 育子 松島健一郎	島田 一恵	新町 栄一	西谷 英輔	廣田 弘毅	朴谷 修
Contrabass	荒木亜寿美	柳橋 禎子	吉澤 克仁				
Flute	石田 孝弘						
Oboe	北岡 佳苗	保科 浩一					
Clarinet	大田 昌子	佐々木桂治	住吉友紀子	古川 友紀			
Fagotto	牛嶋 裕	篠崎 秀一	永原 千春	永原 秀樹			
Horn	川添 等	坂井 禎					
Trumpet	古井 清紀	松住 一史					
Trombone	岩城 悟	大田 昭男	大田 和樹				
Percussion	高本 篤志						

Solist



岩井 理花 ソプラノ

黒部市出身。東京芸術大学声楽科および同大学院修了。第54回日本音楽コンクール、ティト・スキーパー国際声楽コンクール、第1回藤沢オペラコンクール等、国内外の数々のコンクールに入賞。ミラノから帰国後は日本を代表する指揮者（小澤征爾、故若杉 弘、大野和士、故朝比奈 隆etc）と数多くのオペラやコンサートに出演し成功を取っている。モーツァルトからヴェルディ、ワーグナーに至るまで幅広いレパートリーをこなす。「ワルキューレ」のゾークリンデ、「マダム・バタフライ」のタイトルロール等で評価され、1995年ジロー・オペラ賞を受賞。最近ではヴェルディ「マクベス」のレディー役で大成功を取める。コンサートでは「第九」「メサイヤ」をはじめ、モーツァルト、ヴェルディ、フォーレ、ブラームスの各レクイエムのソリストとして、またNHK芸術劇場、題名のない音楽会、NHKFMクラシック、名曲アルバム等でも出演し放送されている。北日本新聞芸術奨励賞受賞。新川地区発展賞奨励賞を受賞。二期会会員。



日野 妙果 メゾ・ソプラノ

国立音楽大学卒業、ウィーン国立音楽大学首席卒業。ドイツ、ラインスベルグ宮殿室内歌劇にてCh.ティーレマン指揮、R.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」の作曲家役でオペラ・デビュー後、ウィーン・オペラシアター、ナポリ・サンカルロ劇場、チロル音楽祭、コシチェ国立歌劇場、ヴァルナ音楽祭、シェンブレン室内歌劇場、サンタンデル歌劇場に出演。国内に於いても東京新国立劇場を始め二期会オペラ、北九州シティオペラなど各地のオペラ公演に出演。2003～04年にかけてG・ヤノヴィッツ氏の後援でオーストリアのアイスガルンに於いて歌曲の連続演奏会を、スイスのダボスでE・ヘフリガー記念リサイタルを、その他NHK・FMリサイタル、カタニア放送、オーストリアFM放送などに出演し、日本国内でのリサイタル活動も併せ、リート歌手としても高い評価を受けている。二期会会員、イタリア・モンテグラール・オペラアカデミー会員。



内山 信吾 テノール

武蔵野音楽大学卒業、及び同大学院修了。日伊音楽協会会員。東京オペラプロデュースメンバー。ドイツ・ブラウンシュヴァイク歌劇場と契約し、オペラ、コンサートに出演。帰国後は東京文化会館でのリサイタル、新国立劇場主催のオペラ公演に多数出演するなど、オペラを中心に活躍中。2006年5月には韓国ソウルにて、イタリア・ブルガリア・ドイツ・メキシコ・韓国・日本のテノール歌手が歌を競う「世界の6人のテノール」コンサートに日本代表として出演し、イタリアの名テノール、ジュゼッペ・ジャコモニと共演した。また、2008年9月に出演したヴェルディの大作オペラ「ドン・カルロ」のタイトルロールでは、専門誌にて「安定したイタリア系美声を駆使した端正な歌唱に乱れはなく、王子にふさわしい品格にも不足しない。主役としての役割を的確に果たして魅力的だった」と絶賛された。



谷 友博 バリトン

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。1995年渡伊。第27回リクルートスカラシップ奨学生としてミラノ音楽院に学ぶ。1999年3月「ラ・ボエム」のショナールで藤原歌劇団にデビュー。2002年「椿姫」のドビニー出演を経て、2003年にはジェルモンに抜擢され絶賛を博した。その他、各種コンサートでも活躍し、サントリーホールでのホールオペラ「ドン・カルロ」では急遽レナート・ブルゾンの代役を務め、成功を取め、2005年5月には小澤征爾音楽塾山梨特別公演「ドン・ジョンバンニ」（演奏会形式）のレボレッロに出演。2006年1月には藤原歌劇団公演「ラ・トラヴィアータ」ジェルモン、10月には「ランスへの旅」ドン・アルパロに出演し好評を得る。次代を担うプリモ・バリトンとして更なる活躍が期待されている。藤原歌劇団団員。

Program Note 曲目解説

交響曲第40番 ト短調 K.550

モーツァルトがその早すぎる死の3年前1788年に作曲した39番から41番の最後の3つの交響曲は、彼の数多い作品の中でも特に有名なものとなっています。これら3曲の成熟した内容と1曲ごとの性格の違いを考えると、この時期のモーツァルトの創作力がいかに深まっていたかを知ることができます。

初演は1791年4月、ウィーンの音楽家協会の演奏会で、映画「アマデウス」に出てくる宮廷楽長サリエリの指揮で演奏されたと推測されています。モーツァルトの交響曲のうち短調のものはこの作品を含めてわずか2曲しかなく、その両方がト短調であり、もう一方の交響曲第25番は前出の映画「アマデウス」の冒頭に使われた曲です。

この交響曲第40番は、数あるモーツァルトの作品の中でも、この曲に特別な感慨を抱いている人は少なくないのではないのでしょうか。

ト短調という悲劇的な調性、吹き荒れる情熱、聴き手を奥底から揺さぶる力、それでいて完璧な音楽構成のこの作品、レクイエムのサブプログラムにはうってつけではないでしょうか。

第1楽章：曲頭、序奏なしである有名な情感深い第1主題がいきなり提示され、直ちに聴き手を悲劇的なト短調の世界に引き込みます。

第2楽章：ゆったりとした優美な曲想の楽章ですが、32分音符の付されたメロディが、どこか不安定な雰囲気を出しています。

第3楽章：メヌエットと題されていますが、とても舞曲とは思えないようなデモーニッシュな音楽。それだけにトリオの優美さが際立ちます。

第4楽章：第25番のように疾走する音楽がめまぐるしく転調していき、いやがうえにも激しい情感を感じさせます。

レクイエム ニ短調 K.626

『レクイエム』はヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトの未完の遺作。（1791年12月5日没）

「キリエ」の壮大なフーガ、最後の審判の恐怖を鮮烈に表した「ディエス・イレ」、痛切なまでの美しさを感じさせる「ラクリモーサ」など、モーツァルトの最後の作品として、現在まで広く演奏されている。

ウィーン時代に天才の名をほしいままにした人気にも陰りが出始め、強力な経済的援助者だった皇帝ヨーゼフ2世が亡くなり将来の不安を強く感じ初めた頃、病が静かに進行していた。着実に近づいてくる「死」を予感する最中、モーツァルトは「灰色の服を着た見知らぬ男」から『レクイエム』の作曲の依頼を受けた。依頼者はシュトゥパハ伯爵といわれ、匿名で作品を注文してきたことから様々なミステリーじみた憶測も生まれた。病床で力尽きる前日まで作曲は続けられたが、完成されていたのは1曲目「イントロイトゥス」だけで、「キリエ」「セクエンツィア」「オッフエルトリウム」は、歌唱部とバス、器楽部は主要音形のみ書かれ、最後は「ラクリモーサ」の8小節で息絶えた。

妻のコンスタンツェによると、モーツァルトは「自分のために『レクイエム』を書いている」と語ったという。経済的に苦しい状況であったコンスタンツェは、この未完作品を依頼者に納めるために、モーツァルトの弟子ジェスマイヤーに補筆を依頼。悲痛極まりない前奏、トロンボーンと弦の悲しみの叫びに、合唱がバスから歌い始める『レクイエム』。自身の「死」をじっと見つめながら作曲を続けなければならないモーツァルトの慟哭がきこえるようだ。

Wolfgang Amadeus Mozart

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

REQUIEM

レクイエムは、ラテン語で「安息を」という意味。

I. 入祭唱 (Introitus) 合唱、ソロ：ソプラノ

Requiem aeternam dona eis, Domine,
et lux perpetua luceat eis.
Te decet hymnus, Deus, in Sion,
et tibi reddetur votum in Jerusalem.
Exaudi orationem meam,
ad te omnis caro veniet.
Requiem aeternam dona eis, Domine,
et lux perpetua luceat eis.

主よ、永遠の安息を彼らに与え、
絶えざる光でお照らしください。
神よ、シオンではあなたに賛歌が捧げられ、
エルサレムでは誓いが果たされます。
私の祈りをお聞き届けください
すべての肉体はあなたの元に戻ることでしょ
う。
主よ、永遠の安息を彼らに与え、
絶えざる光でお照らしください。

II. キリエ (Kyrie) 合唱 「憐れみの賛歌」の意味。

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

主よ、あわれみたまえ。
キリストよ、あわれみたまえ。
主よ、あわれみたまえ。

III. 続唱 (Sequenz) 最後の審判を歌ったもの。

No.1 怒りの日 (Dies irae) 合唱

Dies irae, dies illa
solvat saeculum in favilla:
teste David cum Sibylla
Quantus tremor est futurus,
quando iudex est venturus,
cuncta stricte discussurus

怒りの日、その日は
ダビデとシビラの預言のとおり
世界が灰燼に帰す日です。
審判者があらわれて
すべてが厳しく裁かれるとき
その恐ろしさはどれほどでしょうか。

No.2 奇しきラッパの響き (Tuba mirum) ソロ：ソプラノ・アルト・テナー・バリトン

Tuba mirum spargens sonum
per sepulchra regionum,
coaget omnes ante thronum.
Mors stupebit et natura,
cum resurget creatura,
judicanti responsura
Liber scriptus proferetur,
in quo totum continetur,
unde mundus iudicetur.
Iudex ergo cum sedebit,
quidquid latet, apparebit:
Nil inultum remanebit.
Quid sum miser tunc dicturus?
Quem patronum rogaturus?
Cum vix justus sit securus.

奇しきラッパの響きが
各地の墓から すべての者を玉座の前に集めるでしょう。
つくられた者が裁く者に弁明するために
よみがえる時 死も自然も驚くでしょう。
書物がさしだされるでしょう。
すべてが書きしるされた この世裁く書物が。
そして審判者がその座に着く時
隠されていたことがすべて明らかにされ、
罪を逃れるものはありません。
その時良れな私は何を言えば良いのでしょうか？
誰に弁護を頼めば良いのでしょうか？
正しい人ですら不安に思うその時に。

No.3 恐るべき威光の王 (Rex tremendae) 合唱

Rex tremendae majestatis,
qui salvandos salvas gratis,
salva me, fons pietatis.

救われるべき者をお救いください。
恐るべき御稜威の王よ、
慈悲の泉よ、私をお救いください。

No.4 思い出したまえ (Recordare) ソロ：ソプラノ・アルト・テナー・バリトン

Recordare Jesu pie,
quod sum causa tuae viae:
ne me perdas illa die.
Quaerens me, sedisti lassus
Redemisti crucem passus
Tantus labor non sit cassus.
Juste iudex ultionis,
donum fac remissionis,
ante diem rationis.
Ingemisco, tamquam reus:
culpa rubet vultus meus:
supplicanti parce Deus.
Qui Mariam absolvisti,
et latronem exaudisti,
mihi quoque spem dedisti.
Preces meae non sunt dignae:
Sed tu bonus fac benigne,
Ne perenni cremer igne.
Inter oves locum praesta,
et ab haedis me sequestra,
statuens in parte dextra.

思い出してください、慈悲深きイエスよ
あなたの来臨は私たちのためであるということ
をその日に私を減ぼさないでください。
私を探してあなたは疲れ、腰をおろされた
十字架を堪え忍び、救いをもたらされた
これほどの苦しみが無駄になりませんように。
裁きをもたらす正しき審判者よ
裁きの日の前に
ゆるしの恩寵をお与えください。
私は罪人のように嘆き
罪を恥じて顔を赤らめず
神よ、許しを請う者に慈悲をお与えください。
(マグダラの) マリアを許し
盗賊の願いをもお聞き入れになった主は
私にも希望を与えられました。
私の祈りは価値のないものですが、
優しく寛大にしてください。
私が永遠の炎に焼かれないように。
私に羊の群れの中に席を与え
牡山羊から遠ざけ
あなたの右側においてください。

No.5 呪われた者 (Confutatis) 合唱

Confutatis maledictis,
flammis acerbis addictis,
voca me cum benedictis.
Oro supplex et acclinis,
cor contritum quasi cinis:
gere curam mei finis.

呪われた者たちが退けられ、
激しい炎に飲みこまれる時、
祝福された者たちとともに私をお呼びください。
私は灰のように砕かれた心で、
ひざまずき、ひれ伏して懇願します。
終末の時をおはからいください。

No.6 ラクリモーサ (Lacrimosa) 合唱

Lacrimosa dies illa,
qua resurget ex favilla
judicandus homo reus:
Huic ergo parce Deus.
Pie Jesu Domine,
Dona eis requiem. Amen

涙の日、その日は
罪ある者が裁きを受けるために
灰の中からよみがえる日です。
神よ、この者をお許しください。
慈悲深き主、イエスよ
彼らに安息をお与えください。アーメン。

IV. 奉献唱 (Offertrium) 司祭がパンとぶどう酒を捧げる時に歌われる。

No.1 主イエス・キリスト (Domine Jesu Christe) 合唱

Domine Jesu Christe, Rex gloriae,
libera animas omnium fidelium defunctorum
de poenis inferni,
et de profundo lacu:
libera eas de ore leonis,
ne absorbeat eas Tartarus,
ne cadant in obscurum.
Sed signifer Sanctus Michael
representet eas in lucem sanctam,
quam olim Abrahae promisisti
et semini ejus.

主イエス・キリストよ、栄光の王よ、
全ての死せる信者の魂を
地獄の罰と深淵からお救いください
彼らの魂を獅子の口からお救いください
彼らが冥府に飲み込まれぬように
彼らが暗黒に落ちぬように。
旗手たる聖ミカエルが
彼らの魂を聖なる光へと導きますように。
かつてあなたがアブラハムとその子孫に
約束したように。

No.2 賛美の生け贄と祈り (Hostias) 合唱

Hostias et preces Tibi,
Domine, laudis offerimus.
Tu suscipe pro animabus illis,
quarum hodie memoriam facimus.
Fac eas, Domine, de morte transire ad vitam,
quam olim Abrahae promisisti
et semini ejus.

賛美の生け贄と祈りを
主よ、あなたに私たちは捧げます。
彼らの魂のためにお受け取りください。
今日、私たちが追悼するその魂のために。
主よ、彼らの魂を死から生へとお移しください。
かつてあなたがアブラハムとその子孫に
約束したように。

V. サンクトゥス (Sanctus) 合唱 神を賛美し感謝する聖歌。

Sanctus, Sanctus, Sanctus
Dominus, Deus Sabaoth
Pleni sunt caeli et terra gloria tua
Hosanna, in excelsis

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、
万軍の神よ、主よ
天と地はあなたの栄光に満ちています。
いと高きところにホザンナ。(ホザンナは「救い給え」の意)

VI. 祝福されますように (Benedictus) ソロ：ソプラノ・アルト・テナー・バリトン

Benedictus qui venit in nomine Domini
Hosanna, in excelsis.

主の御名において来る者は祝福されますように
いと高きところにホザンナ

VII. 神羊誦 (Agnus Dei) 合唱 神の小羊であるキリストに世の平安を祈る聖歌。

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:
dona eis requiem.
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:
dona eis requiem.
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:
dona eis requiem sempiternam.

この世の罪を取り除く神の小羊よ
彼らに安息をお与えください
この世の罪を取り除く神の小羊よ
彼らに安息をお与えください
この世の罪を取り除く神の小羊よ
彼らに永久の安息をお与えください

VIII. 聖体拝領唱 Communio (Lux aeterna) ソロ：ソプラノ、合唱

死者が永遠の光に照らされることを神に祈る聖歌。

Lux aeterna luceat eis, Domine:
Cum Sanctis tuis in aeternum,
quia pius es.
Requiem aeternam dona eis Domine:
et lux perpetua luceat eis.
Cum Sanctis tuis in aeternum,
quia pius es.

主よ、彼らを永遠の光でお照らしください。
聖者たちとともに永遠に
あなたは慈悲深くあられるのですから。
主よ、永遠の安息を彼らに与え、
絶えざる光でお照らしください。
聖者たちとともに永遠に
あなたは慈悲深くあられるのですから。

REQUIEM

黒部で第九を歌う会 モツレク合唱団

Chorus

ソプラノ

岩竹 幸絵	魚谷 洋子	大田ゆか子	大野 美鈴	大橋 朋子	小熊 房江
角本 睦子	加藤 容子	桐 富子	轡田奈々子	国友和喜子	小島 好子
坂本 利子	嶋尾早紀子	杉沢 禎子	杉本 雪子	千先まさ枝	高野登喜美
高見 玲子	中井 智子	中川 俊江	長崎 絹恵	中島 弘美	長田 雅子
花岡 美帆	濱川 早織	晴披 富子	平野 朝子	松尾 珠美	間部 澄子
三浦 博子	水島沙奈恵	三井 香	三井 由香	三ツ塚修子	村田美紀子
村椿 尚美	森山美加子	山本 祐子	吉田喜代美		

アルト

池田 優香	伊藤ひでみ	稲場千恵子	岩井 清美	太田美恵子	大坪由美子
亀谷やす子	川瀬 禮子	熊野 幸子	黒崎 洋子	近藤外喜子	沢泉 好美
篠崎富美子	島瀬 節子	高岡 尚子	高村 広子	竹内美和子	立野 富子
辻村久美子	中田 勝代	生津江昭子	能島 京子	花岡 光子	藤森布紗子
前田 ふさ	松田 郁子	松村美智代	村井 富子	森内 孝子	安原 麗子
山澤 葛枝	鷺塚 匡子	綿 真理子			

テノール

井内 学	石川 幹夫	伊東 景治	上田 洋一	大崎 晴夫	太田 敏子
木村 悦郎	堺谷 芳孝	田中 哲彦	南保 弘幸	八川 進	福田 茂信
松倉 正機	松原 英樹	宮崎 昌訓	室谷 眞作	米澤憲二郎	

バス

油井 嘉伸	飯田 憲司	扇原 桂一	岡本 寿憲	佐藤 雅志	鳥倉 敏夫
高橋 興一	盤若 貞雄	広野 誠	藤井 実	松田 徹	三井 適夫
村沢 兼二	屋木 栄	吉崎 嗣憲	米田 幹雄	米田隆太郎	鷺塚 清

協力合唱団

合唱団MITU	高岡市
合唱団おおやま	富山市
パッサンサンブル富山	富山市
MFC東京	東京都

黒部で第九を歌う会役員

名誉会長	森丘 實
会長	鳥倉 敏夫
副会長	松倉 正機 武藤 憲夫 能勢 実 三井 適夫
顧問	堀内 康男 宮腰 光寛 横山 栄 大野 久芳
参与	伊東 景治 松本 正則
監事	南保 弘幸 鮫沢 裕二 (黒部市国際文化センター局長)
事務局長	三井 適夫
事務局次長	三井 香
理事	広野 誠 前田 ふさ 高岡 尚子 杉沢 禎子 三浦 博子 上田 洋一 辻 和夫 能登 恭子 篠崎 秀一 (富山シティフィル)

合唱指導	内山 太一
合唱ピアノ伴奏	内山 節子

黒部第九友の会会員

朝田美尾子	第九を歌う会	熊野 幸子	第九を歌う会	能島 京子	第九を歌う会
石川 和子	黒部市	黒崎 洋子	第九を歌う会	花岡 光子	第九を歌う会
生津江昭子	第九を歌う会	小島 好子	第九を歌う会	晴披 富子	第九を歌う会
伊東 景治	参与	近藤外喜子	第九を歌う会	平野 朝子	第九を歌う会
稲葉千恵子	第九を歌う会	坂本 利子	第九を歌う会	前田 ふさ	理事
岩井 恵澄	黒部愛児園園長	島瀬 節子	第九を歌う会	松尾 珠美	第九を歌う会
岩井 清美	第九を歌う会	鳥倉 敏夫	会長	松村美智代	第九を歌う会
上田 洋一	理事	菅野 純子	バレットハウス主宰	三浦 博子	第九を歌う会
上田とよ子	東京都	高見 玲子	第九を歌う会	三井 香	理事
魚谷 洋子	第九を歌う会	高岡 尚子	理事	三井 適夫	副会長
大坪由美子	第九を歌う会	竹内美和子	第九を歌う会	武藤 憲夫	副会長
大野 美鈴	第九を歌う会	立野 富子	第九を歌う会	村井 富子	第九を歌う会
小熊 房江	第九を歌う会	辻 和夫	理事	森山美加子	第九を歌う会
角本 睦子	第九を歌う会	中島 弘美	第九を歌う会	安原 麗子	第九を歌う会
亀谷やす子	第九を歌う会	中田 勝代	理事	山澤 葛枝	第九を歌う会
桐 富子	第九を歌う会	南保 弘幸	監事		

あいうえお順 (敬称略)

皆様のあたたかいご支援により、
モーツァルトのレクイエムコンサートを開催することができました。

四十物昆布(株)	(有)カーメンテナンス朝倉	生地蒲鉾(有)
生地第一温泉	(株)植万	(株)エムエスピー
大野衣料店	小熊歯科医院	女川歯科医院
銀盤酒造(株)	黒部市芸術文化振興協会	黒部中央ロータリークラブ
黒部ロータリークラブ	桜井交通(株)	(有)新徳興業
東洋ゼンマイ(株)	(株)ナカノ	パレス扇寿
平野工務店(株)	松原工業(有)	丸中水産(株)
皇国晴酒造(株)	(有)宮腰工業所	喫茶 モーツァルト
(株)山口技研	(株)吉田商会	

川端鐵工(株)

黒部市生地芦区247 ☎0765-56-8163

黒部クリーン(株)

黒部市北野47-2 ☎0765-52-0047

(株)サニードライブロダクト

黒部市堀切1525-1 ☎0765-54-2700

装苑 ひろの

黒部市牧野311(メルシー内) ☎0765-54-1203

菅野印刷興業(株)

黒部市若栗2630 ☎0765-54-0112

第一建設(株)

黒部市飯沢1077 ☎0765-56-8125

(株)ニイカワポータル

黒部市新牧野152 ☎0765-54-5355

北陸機材(株)

富山市綾田町1-6-22 ☎076-441-5411

ホテルアクア黒部

黒部市天神新353-1 ☎0765-54-1000

松倉呉服店

黒部市三日市3117 ☎0765-54-0529

(株)ミツイ

黒部市中新398 ☎0765-52-0092

北日本新聞社

富山市安住町2-14 ☎076-445-3300

黒部金融協会

黒部ライオンズクラブ

(株)堀内商会

黒部市荻生6855 ☎0765-54-0511

黒部エムテック(株)

富山県黒部市吉田200 ☎0765-54-8665

YKK株式会社